

# マウスにおけるゲノム編集と行動解析を 起点とした精神疾患研究

高雄 啓三 先生

富山大学学術研究部医学系行動生理学講座・教授

2020年8月24日(月) 17:00-18:00

セミナーはZoomで開催しますので、時間になりましたら下記のURLまたはQRコードからご参加下さいますようお願い致します。

<https://zoom.us/j/97954831949?pwd=RnZwWlRycXBmUUM5c0NtSnIGWENQUT09>

協賛 金沢大学超然プロジェクト2019

金沢大学十全医学会

全ての遺伝子の約80%は脳で発現しており、脳で発現する遺伝子の機能を調べるためにはその最終アウトプットである行動を調べることが必要だと考えられます。これまでに高雄博士らは、各種遺伝子改変マウスに対して網羅的行動テストバッテリーを行うことで、遺伝子・脳・行動の関係を調べてこられました。その中で精神疾患様行動を示すマウスを同定し、そのマウスの脳を解析することによって遺伝子と精神疾患の関係、さらには精神疾患の中間表現型を明らかにすることを目標として研究が行われています。本セミナーでは、マウスを活用した精神疾患研究を行うにあたって、ゲノム編集技術による遺伝子改変マウスの作出から行動表現型解析にいたるまでの基本手法を概説するとともに、得られた結果を解釈する際の注意点などについても議論していただきます。このようにモデル動物を用いた最新の発生工学・行動解析技術や神経精神疾患研究の最前線を知るにはもってこいの機会です。皆様奮ってご参加下さい。

## 参考文献

Darwish M., et al. J Neurosci Methods, 317: 149-56, 2019.

Takao K., et al. Front Behav Neurosci, 10: 99, 2016.

Takao K., et al. Proc Natl Acad Sci U S A, 112: 1167-72, 2015.

Takao K., et al., Neuropsychopharmacology, 38: 1409-25, 2013.

問い合わせ先

金沢大学医学系 脳神経医学 河崎 洋志

076-265-2365/kawasaki@med.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学医学系 組織細胞学 西山 正章

076-265-2150/nishiyam@staff.kanazawa-u.ac.jp

